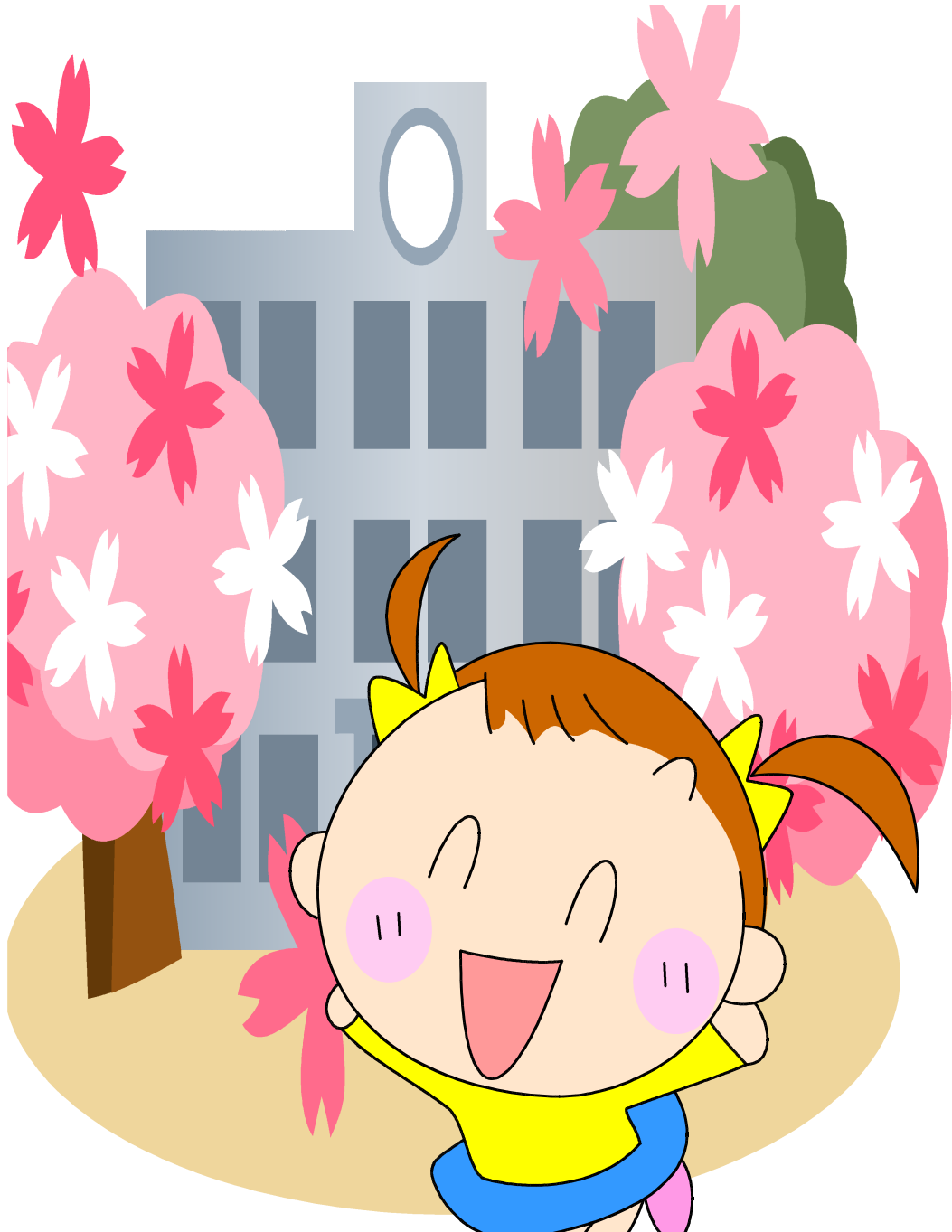




なっちゃんは、おくの
の しょうがくせい。



あるひのこと。うばが
みいせきのたてあなしき
じゅうきよ（竪穴式住居：家）が、
きになった。

「どうして、たてあなし
きじゅうきよをむかしの
ひとは、えらんだのか
な？」

と おかあさんにきいて
みた。しばらく、かんが
えたおかあさん、

「わからないわ。かんが
えたこともなかったわ」

「ん～、きになっちゃう」

ど
う
し
ょ
う

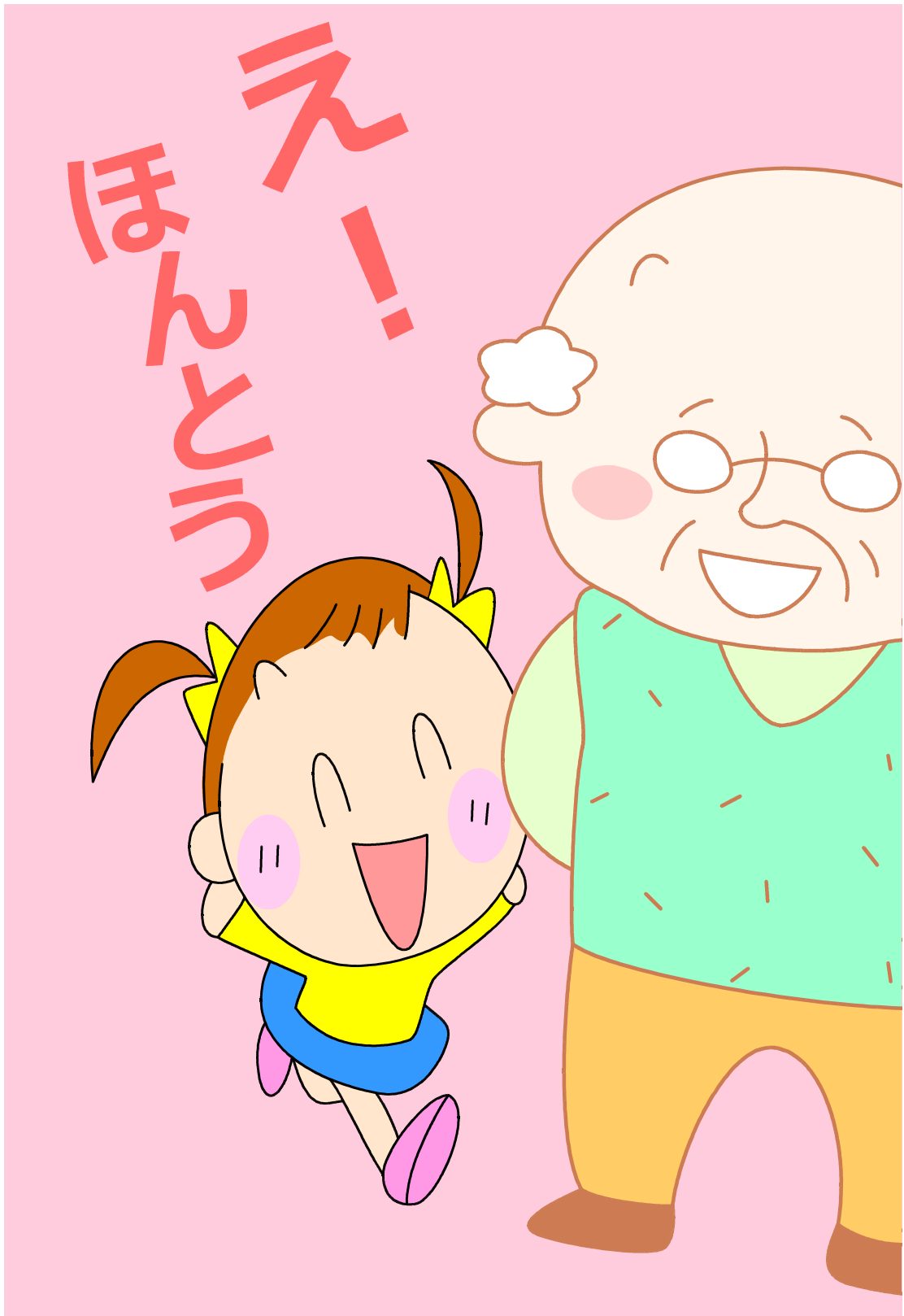


「おじいちゃんにきいて
みたら？」
と おかあさん。

こまったなっちゃん、
ものをよーくしっている
おじいちゃんに きいて
みた。すると

「ん～、たしかに。どう
して **たてあなしきじゅう**
きよなのかな？わからない
ね」

あきおさんにきいてみ
るか。いっしょにいつて
あげるよ。





さっそく、あきおさん
のいえに いって、きい
てみた。すると、
「ん～。どうして、たて
あなしきじゅうきよな
の？」

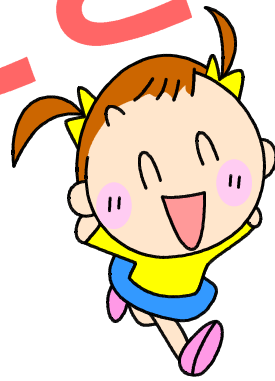
それは、いいしつもん
だね。いくつかのわけが
あるんだよ！

と あきおさん、はな
してくれた。

あれあれ、これはおもしろそうと、な
ぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。
どこかな？



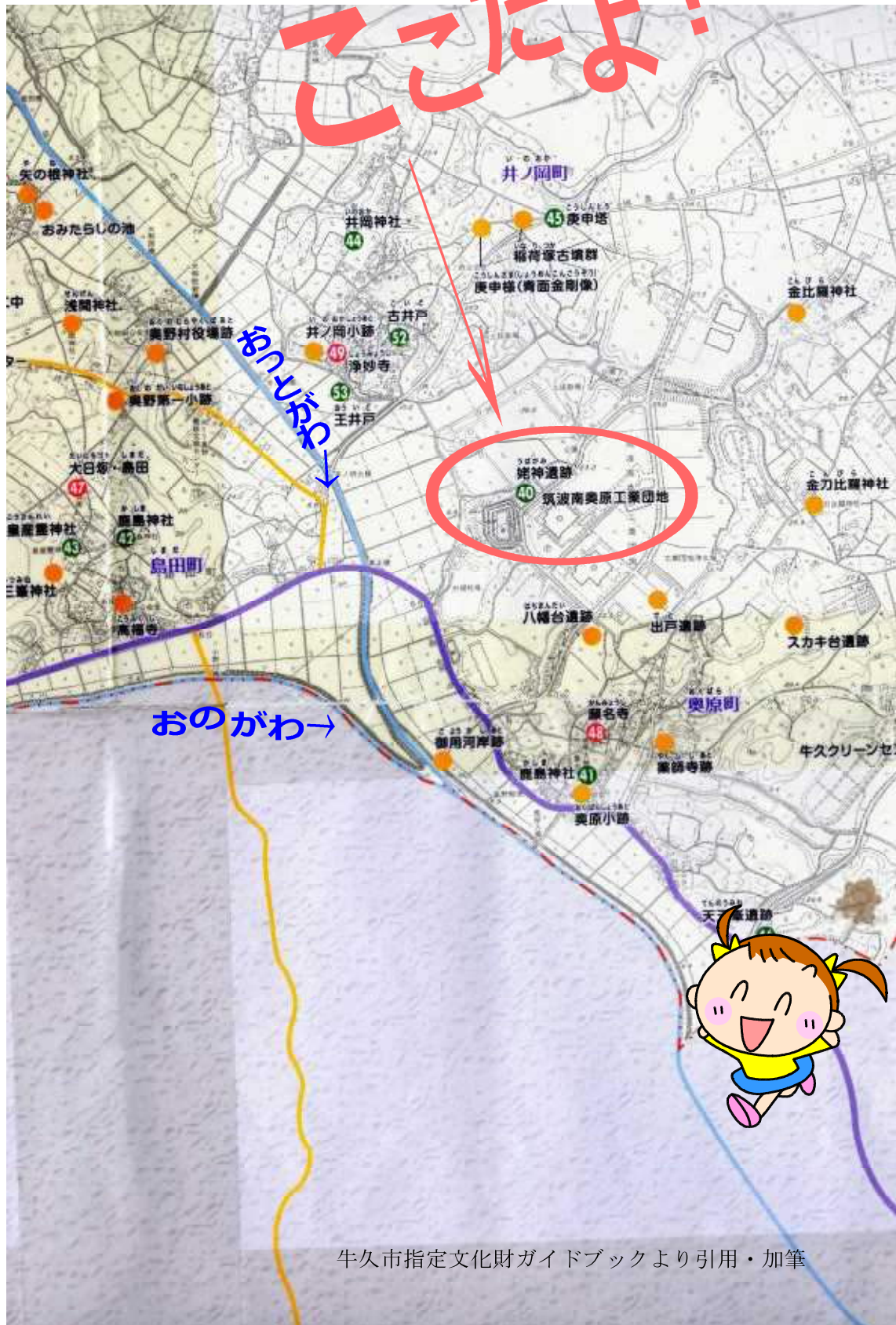
わくわく
どきどき



まず、うばがみいせき
について、はなそうね。
つぎのページのちずで
ばしょをみてみよう。

うばがみいせきは、

ここだよ！



牛久市指定文化財ガイドブックより引用・加筆

このうばがみいせきは、たてあなしきじゅうきよ、156けん。ほうけいしゅうこうぼ、3き。ほったてばしらたてもの

(掘建柱建物：高床式倉庫) 3とう。と、きぼもおおきいものだったんだ。

ここにあった156けんのたてあなしきじゅうきよのひみつをさぐってみようね。

その1。つくり



たてあなしきじゅうきよ



うわや (上屋) は、はしら (柱) をたて、ほねぐみをつくり、**かや**や**わら**などでやねをふきおろしたもの。

図3-4 蛇神遺跡3号住居跡平面図
(奥原遺跡発掘調査会「奥原遺跡」より転載)

その2。まんなかに、
ほりくぼめたろ (炉：にたき・だん
ぼう・しょうめい) が、あつた。

くわえて、こふんじだ
いになるとかまど (竈)
が、つくられるようにな
り、そこ
で、ちよ
うりする
ようにな
ったんだ。



(80) 純神地区 SI-46カマド状況



かまど

その3。おおきさ

たてあなしきじゅうきよのお
おきさは、①こふんじだい

(古墳時代)

1 ぺん (辺) が、6 ～ 8 m。

②ならじだい (奈良時代)

1 ぺん (辺) が、4 ～ 5 m。

③へいあんじだい (平安時代)

1 ぺん (辺) が、3 m。

と ちいさくなっているんだ。

「どうして、かわったの？」

それはね。おそらくあつかっ
たり、さむかったりしたことや、
なんにんでくらしていたか、
などで、かわったのかもね！？

その4。じめんをほって、**はんちか**（半地下）にした。そうすることで、へやのおんど（温度）をいっていにたもつことができたんだ。だから、さむいところでは、たてあなが2mいじょうのところもあったんだ。（うばがみいせきでは、すうじゅう（数十）cmだよ。

「ということは、**なつは、**
すずしくて、ふゆは、あ
たかいの？」



そのとおり！

それだけじゃないんだ。かべがつちだから、なつは、すすしく、ふゆは、ねつが、にげないからあったかいんだよ。

それから、そとのきおん（気温）にあまりえいきょうされないんだ。



くぎ 1 ぽんもつかわず、どうくみたてたのかな？

その5。とうじのどう
ぐは、せつき(石器)だけ。
だから、
きをきる
ことがた
いへんだ
ったんだ。

ませいせつき



(210) 純神地区 各遺構出土磨製石器

そこで、きった**き**のな
がさで、はしらのながさ
をきめるより、つちをほ
って、きめたほうが、ら
くなんだよ。

「たしかに」

だから、**はしらをうめたふかさが、ちがう**
のかな！？（つぎのページのず）

第二節 ムラとくらし

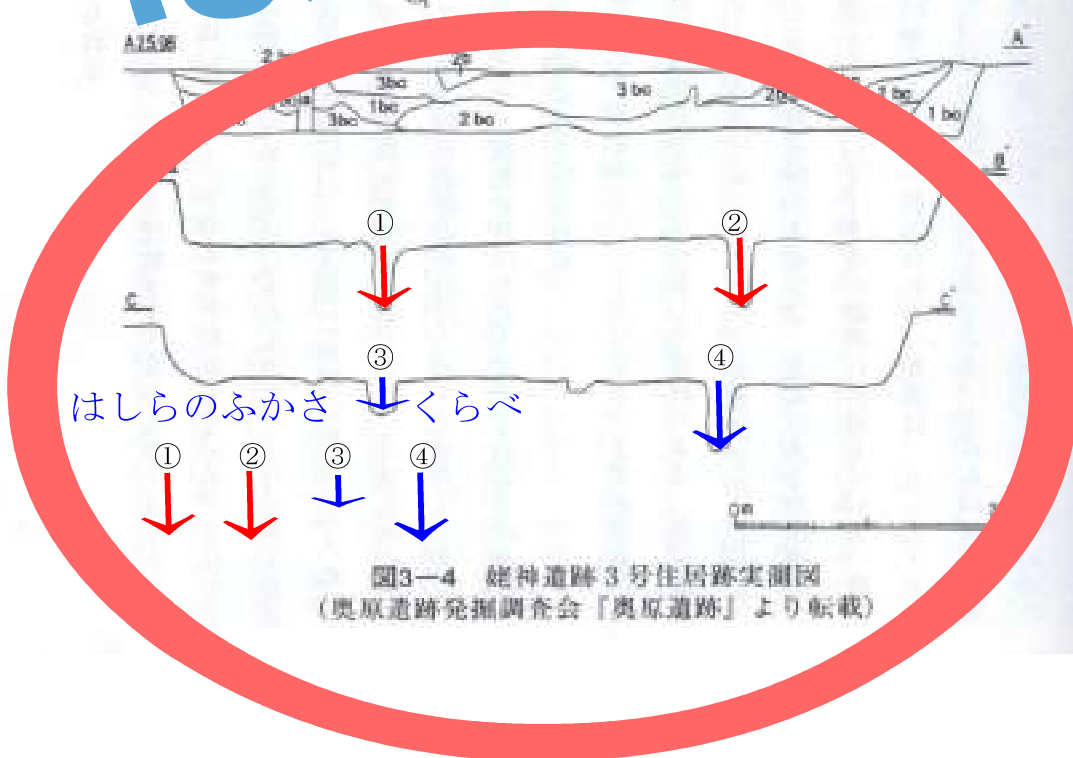
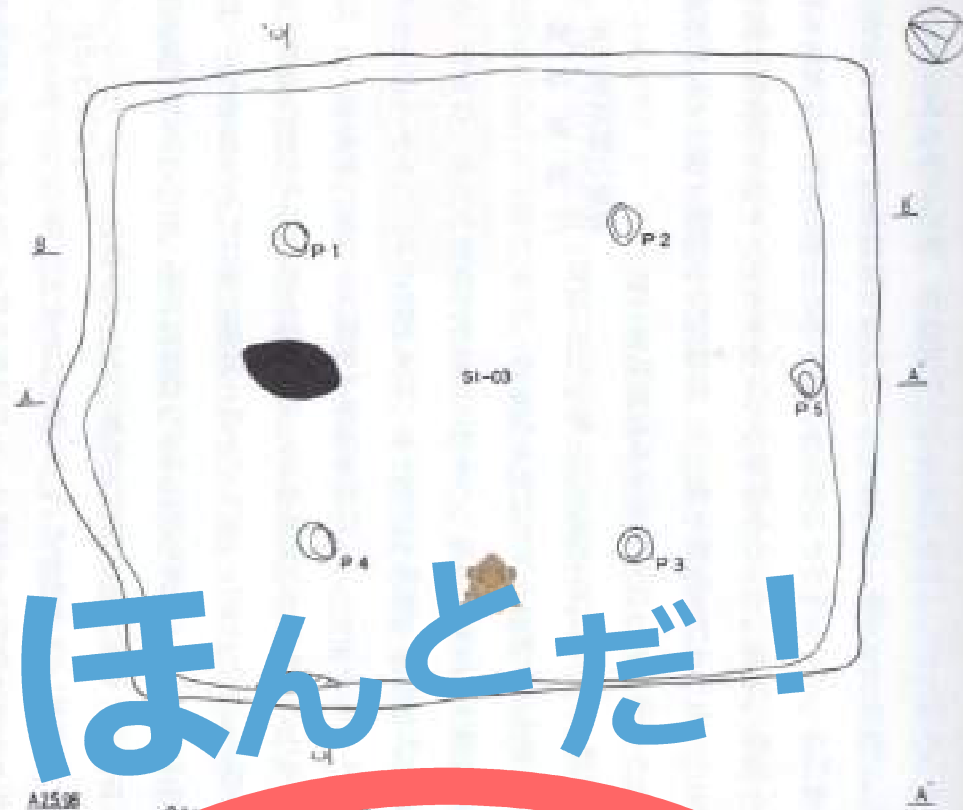


図3-4 姥神遺跡3号住居跡実測図
(奥原遺跡発掘調査会「奥原遺跡」より転載)

その6。

「でも、**き**をつちにうめたら、くさっちゃうよ？」

だから、うめるぶぶんをすこしやいて、くさりにくくしたんだよ。

そして、いえのなかには、**ろ**があって、けむりをのがす**あな** (孔) があったんだ。だから、へやのなかにけむりをまわし、いぶすことで、くさることをふせいだり、むしよけにもなったりしたんだ。

その7。

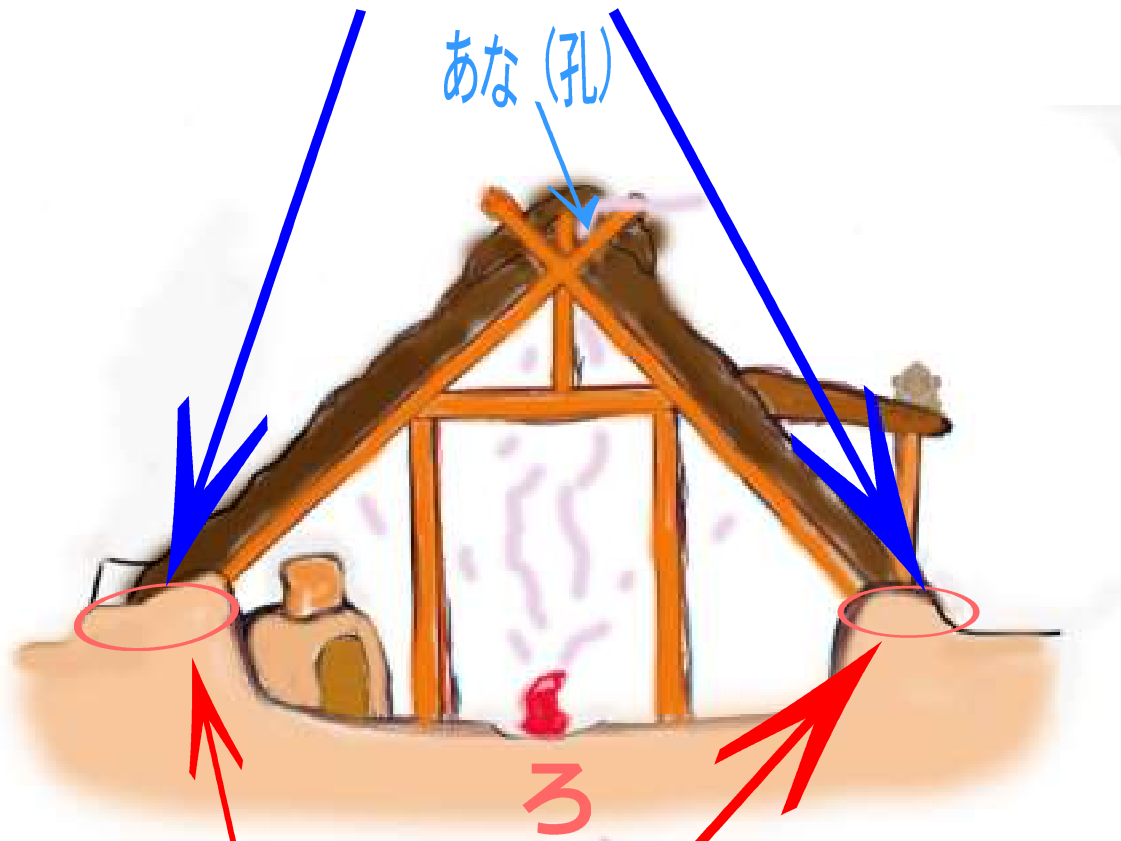
「じめんをほりさげてゆか_(床)にしていた。ということは、おおあめるとき、みずが、ながれこんでしまうのでは？」

いいことにきがついたね。じつはね。しゅうらくをつくるときには、かわのちかくをえらんだくらいだから、たいさくもかんがえていたんだ。

そのひとつが、あなを
ほったときのつちをまわ
りにもりあげたり、やね
が、そのそとがわにくる
ようにして、みずをふせ
いでいたんだよ。

びっくり!

そとがわにやね



もりあげたつち



「そうだったのか」

その 8。

「たてあなしきじゅうき
よって、どのくらいもっ
たの？」

きやつちをつかったの
のだから 20 ねんくらい
かな。つかわれたきは、
くりのきがおおかったん
だよ。

え！
どうして？

それはね。

① **くりのき**は、せいちょうが、はやい。

② みがなれば、たべられる。

③ いしおのでも、きれるかたさなんだよ。

びっくり!

「そうか、だからくりのきなのか」

その9。

たてあなしきじゅうき
よが、いえとしてつかわ
れていたのは、へいあん
じだい (平安時代) ぐらいまで
だが、とうほくちほう (東
北地方) ではむろまちじだい
(室町時代) までつくられてい
たんだよ。

きいたはなしだが、えどじ
だいのしまばらのらんで、ろ
うじょうしたひとたちが、た
てあなしきじゅうきよをつか
ったらしいんだ。びっくり！

その10。

やよいじだい(弥生時代)は、
こめづくりもはじまり、
かまなどもつか
われるようになったんだ。



(92) 姥神地区 SI-101鉄製品(鎌)出土状況

こふんじだ
い (古墳時代) には、
ほったてばし
らたてもの (堀



立柱建物：たかゆかしきそうこ) が、みら
れるようになった。

それは、きをきるどう
ぐ (ませいせっき・てっき) が、あら
われて、きをじょうずに
きることができるように
なったかららしいんだ。

かま

図版45



(216) 姥神地区 SI-101出土鉄

ておの
かたてでふるちいさいおの



(217) 姥神地区 SI-87・SX-02出土手斧

でも、なつは、すずしいが、ふゆさむくて、ひをたいたら、かじになってしまうこともあって、すむいえには、むいていなかったんだ。

やっぱり、すむには、

たてあなしき
じゅうきよ

かな！



その 1 1。

たてあなしきじゅうき
よで、どんなものが、み
つかったの？

みつかっているのは、。
つぼ^(壺)・かめ^(甕)・つき^(坏)
・たかつき^(高坏) など。

とくにかめ（にたり、やい
たりするどうぐ）が、いちば
んおおくみつかったそうだ。



どうしてかな？



(167) 純神地区 SI-115出土壺(弥生)



(168) 純神地区 SI-119出土鉢(須恵)



(169) 純神地区 SI-122出土壺(弥生)



(170) 純神地区 SI-127出土高鉢(須恵)



(171) 純神地区 SI-134出土壺(土師)



(172) 純神地区 SI-137(右)・SI-96(左)出土壺(土師)

かえりぎわにあきおさんが、あつくかたってくれた。

「なっちゃんのような子どもたちに、うばがみいせきあとにたくさんたてあなしきじゅうきよが、あったことをしって、おくのたからもののひとつだと きづいてもらえたら、うれしいね」と。



ん

たのしかった！

たてあなしきじゅうき
よ（うばがみいせき）をしらべてみ
るとむかしのひとのあせ
と なみだが、つたわって
くるようなきがして・・

・
。 やっぱり うばがみいせ
き・たてあなしきじゅう
きよは、おくののたから
ものなんだね。

さて、こんどは、なに
をしらべようかな？

あれあれ？「すごーく、たのしかった」と なぜな
ぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら
かえっていった。

またね 